

江別市緑の基本計画（中間見直し素案）に対するパブリックコメントの結果について

1 意見募集の概要

- (1) 募集期間 平成25年12月18日（水）から平成26年1月17日（金）まで
- (2) 設置場所 環境室環境課、本庁舎1階情報公開コーナー、大麻出張所、水道庁舎内証明交付窓口、情報図書館、市民会館、各公民館、野幌鉄南地区センター、豊幌地区センター、元町地区センター、大麻東地区センター、大麻西地区センター、文京台地区センター
計15箇所
- (3) 意見提出 1名
- (4) 意見件数 5件

2 意見に対する考え方の区分

区分	意見の反映状況
A	意見を受けて計画案に反映するもの
B	計画案に反映しないが、今後の進め方等の参考とするもの
C	計画案と意見の趣旨が同様と考えられるもの
D	これまでも取り組んできているもの
E	計画案に反映しなかったもの

3 意見の内容と市の考え方

※いただいたご意見は、原文のとおり掲載しております。

No.	意見の内容	区分	意見に対する市の考え方
1	この素案は読むだけで大変です。工夫をすれば本文は5ページにまとめ、図面を添付する程度に出来るのではないのでしょうか。計画は計画書が大切ではなく、実行することが大切だと思います。	B	計画案に反映しないが、今後の進め方等の参考とするもの このたびの素案は、平成16年度に策定した計画の中間年次にあたり、現状に即して一部見直しを図ったものです。 いただいたご意見は、今後決定する緑の基本計画（中間見直し）に基づき、緑のまちづくりを進めて行くにあたり、参考とさせていただきます。

2	<p>平成 22 年の「えべつ市民環境講座」⑤で酪農学園大学システム学部金子教授が GIS を使って「江別市の自然環境」を説明されました。日本全国の都市 1976 市町村のうち江別市の樹林面積は 1649 番目との説明でした。野幌森林公園があつてのこの順位です。でも市内を走って納得しません。鉄道林も瀕死の状態です。残念です。</p>	B	<p>計画案に反映しないが、今後の進め方等の参考とするもの</p> <p>江別市は、石狩平野の中央部に位置し、道立野幌森林公園を有しているものの、行政区域の中には山林が無く、全体的に平坦な地勢であります。そのため、宅地や農地としての土地利用がなされてきており、樹林面積はおのずと少ない状況にあります。今後も、身近な緑の保全に努めてまいります。</p>
3	<p>今回の調査では樹林面積が増えていますが、住んでいる周りの樹林は確実に減っています。理由の一つは、折角大きく育った樹を再開発の時に切り倒し住宅が建てられています。その場所にある素晴らしい樹は、移植するか、どうしても無理なら別のところに植林を義務付ける処置をとるべきだと思います。</p>	B	<p>計画案に反映しないが、今後の進め方等の参考とするもの</p> <p>宅地造成などの開発においては、良好な樹林地の保全や緑化について事業者と協議をしていますが、いただいたご意見を関係部局と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
4	<p>こうした、市民を巻き込んだ活動を展開するのが環境課の仕事だと思います。</p> <p>計画をどんなに立派につくっても、実行されなければ意味はないのでは。</p>	B	<p>計画案に反映しないが、今後の進め方等の参考とするもの</p> <p>現在、市内では、緑に関わる協働の取り組みとして、市民植樹や石狩川流域 300 万本植樹、自治会等が取り組む「花のある街並みづくり運動」が定着してきているほか、公園の整備では、市民参加による公園づくりが行われています。今後も、市民協働による緑のまちづくりを進めてまいります。</p>
5	<p>街路樹についても、一寸大きく育ったと思うと剪定して枯らしてしまいます。もっと街路樹も大きく立派に茂らせることが大事です。そのためには子供時代から自然に親しむ教育が大切です。人間は生物多様性の中でしか生きられないのです。</p>	B	<p>計画案に反映しないが、今後の進め方等の参考とするもの</p> <p>街路樹は、電線や交通の障害とならないように剪定しているものですが、いただいたご意見を関係部局と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>